

# 第1学年 社会科地理的分野学習指導案

日時 平成29年10月11日(水) 第5校時

## 1 単元名 地理的分野(1)ウ 世界の諸地域 アジア州

### 2 単元について

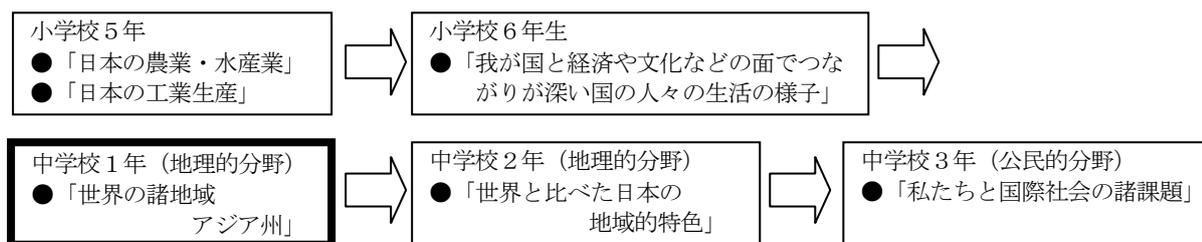
本単元は、中学校学習指導要領社会地理的分野の内容(1)ウ「世界の諸地域」を基に構成する。

アジア州の範囲は広大であり、いくつかの地域に区分することができる。また、アジア州は日本や中国を含む東アジア、インドを中心とした南アジア、その二つには含まれた沿岸部にある東南アジア、大陸の内陸部をしめる中央アジア、そしてヨーロッパやアフリカにつながる西アジアに分けられる。ロシアの領土のうち、ウラル山脈より東側のシベリアもアジア州の範囲に含まれている。

地形的な違いとともに、アジア州には多くの「違い」が見られる。東アジアは大部分が温帯にあって中国文明の影響を強く受けた地域であり、南アジアは大部分が熱帯で、インド文明の影響を強く受けている。東南アジアは両文明から影響を受けた熱帯地域である。中央アジアと西アジアはどちらも乾燥帯にあって、イスラム教の影響が強いが、中央アジアは中国やロシアとの、西アジアはヨーロッパとの歴史的なつながりが深い。

小学校では、第5学年において、我が国の様々な食糧生産、食糧の自給率や輸入、工業生産や貿易について学習している。第6学年において、我が国と経済や文化などの面でのつながりが深い国の人々の生活の様子について、教師が4か国程度を取り上げ、その中から児童一人一人が自らの興味・関心や問題意識に基づいて1か国を選択して調べる学習に取り組んでいる。アジア州の中では、中華人民共和国・大韓民国・サウジアラビアが教科書に取り上げられている。

本単元の学習成果は、地理的分野内容(2)「日本の様々な地域」の中項目イ「世界と比べた日本の地域的特色」のウ「資源・エネルギーと産業」の学習において、世界的視野から見た日本の特色を考察する際に活用することができる。そして、アジア州の学習で取り上げた各地域での特色は、第3学年において、公民的分野内容(4)「私たちと国際社会の諸課題」で活用することができる。



### 3 生徒の実態

《省略》

## 4 指導の手立て

本研究では、年間指導計画や単元の指導計画を工夫し、「習得する学習」「活用する学習」に繰り返し取り組むことで、生徒の追究する力の習熟を図ることができると考えている。また、前述したアンケート調査の結果から対話的な学習を取り入れ生徒の社会的事象への興味関心を高め、協働的に学習を進めることで苦手としている地理的学習への思考力を高められると考えた。さらに対話的な学習を取り入れることで、複数の資料を関連付け考察する力やグラフや表を正確に読み取る技能を身に付けられると考え、本単元の学習計画を作成した。

また、本単元で学習する世界の諸地域の取扱いについては、「州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させること。その際、主題については、州の地域的特色が明確となり、かつ、我が国の国土の認識を深める上で効果的であるという観点から設定すること。また、州ごとに異なるものとなるようにすること」とある。学習指導要領解説社会編に示された主題例を見ると、アジア州の学習イメージは、『なぜアジアでは人口が急増し、民族、文化が多様なのか』という問いを立て、アジアにおける人口急増地域の分布、産業発展と人々の生活のかかわり、民族や宗教分布、宗教と生活とのかかわり、宗教と生活とのかかわり、宗教の伝播や人口の地域間移動の推移などを追究すると、アジアの人口問題の出現や多様な民族構成、文化形成の背景が分かり、アジアの地域的特色の理解につながる」とある。本単元では、単元を貫く課題を「アジア州は、なぜ急速に経済発展してきたのだろう。」と設定してアジア州の地域的特色を追究させる。

本学級の生徒は、これまで「世界各地の人々の生活と環境」において、気温と降水量のグラフの読み取りや写真資料の読み取りなどに取り組み、人々の生活と自然環境を結び付けて考察し、宗教や近代的な生活様式の普及など社会環境による影響を捉える学習に取り組んできた。そこで、本単元では、これらを踏まえて、主題図を適切に読み取ること、複数の主題図を関連付けて読み取ることといった技能と、読み取ったことをもとにアジア州の特色を多面的・多角的に考察する力の習得をねらい、資料を活用してアジア州の産業や生活・文化の特色を調べ、それを説明したりイメージマップに表現したりする活動を位置付ける。この、主体的・協働的な学習形態を多く単元内に多く設けるため、本単元では、第2時から第5時まで知識構成型ジグソー法を取り入れ、特にアジア州の地域性と産業の発展の特色をそれぞれが資料から読み取る活動を行う。その後、互いの情報をもとにアジア州の特色について意見交換させ、イメージマップの手法を用いながら地理的事象をまとめ、表現する場面を設ける。この活動を通し、資料から地理的事象を読み取る技能、読み取った内容を適切に表現する力を身に付けさせることができると考える。

特に第6時では、学習のまとめとして、地域ごとにまとめた視点と毎時間ごとに作成したカードを活用しながら、アジア州の地域的特色に関するキーワードをあげさせ、それをグループで話し合いながら構造図に整理する学習活動を設定する。これにより、事象間の関連を捉えさせるとともに、地域的特色を総合的に捉える見方・考え方を身に付けさせていく。

## 5 単元の指導計画

### (1) 単元の目標

○アジア州の地域的特色に対する関心を持ち、意欲的に追究する。

【社会的事象への関心・意欲・態度】

○アジア州の地域的特色を多面的・多角的に考察し、その結果を表現する。

【社会的な思考・判断・表現】

○アジア州に関する主題図や統計資料、写真資料を適切に読み取る。

【資料活用の技能】

○アジア州の地域的特色について理解し、その知識を身に付ける。

【社会的事象についての知識・理解】

## (2) 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
身近なアジア州の生活・文科や産業について、興味・関心を持ち、それを意欲的に追究しようとしている。	季節風の及ぶ地域と及ばない地域の農業の違いや人口分布の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	アジア州の自然環境と農業の人口分布などとの関連性を、主題図や統計資料、写真資料から読み取っている。	アジア州の自然環境や文化、産業などを概観し、アジア州の地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

## (3) 単元の指導計画 (6時間扱い 本時3/6)

時	主な学習内容・学習活動	指導上の留意点・評価 (◇)
1	<p><b>本時の課題：アジア州とは、どのような特色がある地域なのだろう。</b></p> <p>○アジア州の人々の生活について、小学校で学習したことを発表し、その内容を手掛かりにして、人々の生活様式や文化の特色を調べる。</p> <p>○アジア州をイメージするために、アジア州についての新聞記事の切り抜きを行い、自分の言葉でまとめる。</p> <p>○アジア州の自然環境を地図帳の一般図や主題図から読み取る。</p> <p>○アジア州に影響を及ぼしている季節風について調べ、その内容を理解する。</p> <p><b>単元を貫く課題： アジア州は、なぜ急速に経済発展してきたのだろう。</b></p>	<p>・アジア州はどの新聞での取り上げられるほど、広大で多様な社会だと気づかせる。</p> <p>・広大な地域にはさまざまな気候帯が存在していることを理解する。</p> <p>◇身近なアジア州の地域的特色について関心を持ち、それを意欲的に追究しようとしている。【関心・意欲・態度】</p>
2	<p><b>本時の課題：東アジアはどのようにして発展したのだろう。</b> ～「中国」を例にして考えよう～</p> <p>○東アジアについて、次の項目をグループの中で分担し、同じ項目を担当した生徒同士で協力して調べる。【エキスパート活動】</p> <p>項目A 人口を支えている農業 項目B 急速な工業化 項目C 急速な発展の伴う変化</p> <p>○グループ内で互いに調べたことを教え合い、課題について、グループ内で話し合う。 【ジグソー活動】</p> <p>○学級全体で意見を出し合い、課題について話し合う。 【クロストーク活動】</p>	<p>・知識構成型ジグソー法を取り入れ、主題図や統計資料から読み取ったことを、互いに教え合う活動を設定する。</p> <p>・急速な人口増加への対応や沿岸部の経済発展の様子、発展に伴う環境問題や経済格差を読み取らせる。</p> <p>◇中国の経済発展に関する主題図や統計資料、写真資料を適切に読み取ることができる。【技能】</p> <p>・読み取ったことを関連付けて、課題について多面的・多角的に考察させる。</p>

<p>3 本 時</p>	<p><b>本時の課題：東南アジアは外国とのかかわりの中で、どのようにして発展したのだろうか。</b></p> <p>○東南アジアについて、次の項目をグループの中で分担し、同じ項目を担当した生徒同士で協力して調べる。【エキスパート活動】  項目A 農業について（伝統と革新）  項目B 工業について  項目C 地域としてのまとめ</p> <p>○グループ内で互いに調べたことを教え合い、課題について、グループ内で話し合う。【ジグソー活動】</p> <p>○学級全体で意見を出し合い、課題について話し合う。【クロストーク活動】</p>	<p>・二期作・プランテーションによる輸用作物、外国企業の受け入れ、ASEAN のような地域連合というキーワードが発展のカギになっていることを読み取らせる。</p> <p>◇東南アジアに関する主題図や統計資料、写真資料を適切に読み取ることができる。【技能】</p> <p>・読み取ったことを関連付けて、課題について多面的・多角的に考察させる。</p>
<p>4</p>	<p><b>本時の課題：南アジアは地域の違いをどのように発展にいかしているのだろうか</b></p> <p>○南アジアについて、次の項目をグループの中で分担し、同じ項目を担当した生徒同士で協力して調べる。【エキスパート活動】  項目A 宗教の違い（人口増加）  項目B 農業（気候の違いを農業に）  項目C インドの ICT 産業</p> <p>○グループ内で互いに調べたことを教え合い、課題について、グループ内で話し合う。【ジグソー活動】</p> <p>○学級全体で意見を出し合い、課題について話し合う。【クロストーク活動】</p>	<p>・宗教の違い、気候の違いによるさまざまな農業、インドの ICT 産業が世界で注目されていることを読みとらせる。</p> <p>◇南アジアに関する主題図や統計資料、写真資料を適切に読み取ることができる。【技能】</p> <p>・読み取ったことを関連付けて、課題について多面的・多角的に考察させる。</p>
<p>5</p>	<p><b>本時の課題：西アジアと中央アジアの経済発展を支えているのはどのような産業だろうか。</b></p> <p>○西アジア・中央アジアについて、次の項目をグループの中で分担し、同じ項目を担当した生徒同士で協力して調べる。【エキスパート活動】  項目A 現在の西アジアの様子から  項目B 西アジアの産業  項目C 中央アジアの資源開発</p> <p>○グループ内で互いに調べたことを教え合い、課題について、グループ内で話し合う。【ジグソー活動】</p> <p>○学級全体で意見を出し合い、課題について話し合う。【クロストーク活動】</p>	<p>・西アジアが石油とともに新しい産業にも進出していることや鉱産資源に恵まれている中央アジアについて、読み取らせる。</p> <p>◇西アジアに関する主題図や統計資料、写真資料を適切に読み取ることができる。【技能】</p> <p>・読み取ったことを関連付けて、課題について多面的・多角的に考察させる。</p>

本時の課題：アジア州は、なぜ急速に経済発展してきたのだろう。

～ 学習したことを白地図に整理して、アジア州の特色をまとめよう ～

○アジア州を東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア・中央アジアの4つの地域に分け、経済発展の視点に絞った地理的事象を書き出す。

○グループになり、アジア州の白地図に地理的事象に関するキーワードを書き込み、関連するキーワードを線で結ぶ。

○白地図に整理したことを踏まえて、アジア州の特色について自分なりに解釈したことを文章で記述する。

・これまでの学習を振り返らせ、地域ごとの視点と毎時間作成したカードを活用しながら、アジア州の地域的特色に関する地理的事象を書き出させる。

◇アジア州の地域的特色について理解し、その知識を白地図に整理している。【知識・理解】

◇アジア州の特色を多面的・多角的に考察し、その結果を表現することができる。【思考・判断・表現】

生徒の記述例

アジア州では、賃金の安さをいかして、日本など外国企業を受け入れて工業化がすすめられ、中国や東南アジアの国々が急速に経済発展をとげた。今後は労働人口が豊富な南アジアや鉱産資源に恵まれた西アジア・中央アジアの工業化が見込まれている。

## 6 本時の学習

### (1) 本時の目標

○東南アジアに関する主題図や統計資料、写真資料を適切に読み取ることができる。【技能】

### (2) 本時の展開

	学習内容・学習活動	指導上の留意点・評価 (◇)	資料等
導入 7分	1 東南アジアに関する新聞資料を確認し、身近な国であることを再確認する。  2 本時の課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が自ら作成した資料を用い、関心・意欲を高めながら取り組ませる。</li> <li>視覚資料を提示する ICT 機器の操作を行う。</li> </ul>	生徒が作成した資料
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <b>3時間目の課題：東南アジアは外国とのかかわりの中で、どのようにして発展したのだろう。</b> </div>			
追究 30分	3 4人でグループを作り、3つの調査項目を分担する。同じ項目を分担する生徒で集まり、協力し合いエキスパート資料を読み取る。【エキスパート活動】 調査項目 A 農業について (伝統と革新) B 工業について C 地域としてのまとまり	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対する自分なりの考えをもたせておく。</li> <li>適切に資料を読み取れていない生徒に対し、友達の読み取りを参考にしよう、机間指導を行いながら助言する。</li> <li>読み取った資料の内容を関連付け、農家の視点から思考を深められるよう助言する。</li> <li>読み取った資料の内容を関連付け、流通の視点から思考を深められるよう助言する。</li> </ul> ◇東南アジアの特色について、資料から適切に読み取っている。【技能】	エキスパート資料
<p>《予想される生徒の学習内容》(農業を例に)</p> <p>東南アジアでは二期作が行われ、輸出を目的とした稲作も盛んである。また、プランテーションで輸出用の作物が生産されている。コーヒー栽培のような新しい産地も生まれている。</p>			
	4 教室の後ろにある資料カードの中で必要なものを選び、持って行く。  5 読み取った内容を資料のカードにタイトルをつけ、分かりやすく伝える工夫する。 【エキスパート活動】  6 新しいグループとなり、資料から読み取ったこと、調べたことを、資料カードをもとに伝え合う。 【ジグソー活動】	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料カードの中で、自分たちが説明するのに効果的だと思うものを取捨選択する。</li> <li>資料に合わせて、読み取った内容を簡潔に分かりやすくタイトルをつけられるよう、机間指導しながら、助言をする。</li> <li>話し手は、資料を指し示しながら簡潔に分かりやすく説明するよう指示する。</li> <li>適切に伝えられているか机間指導をし、適切に説明できていないグループには助言をする。</li> </ul>	資料カード

	<p>7 どのように工業化が進んでいったのかグループで話し合い、わかりやすいフレーズを用いて発表資料をまとめる。</p> <p style="text-align: center;">【ジグソー活動】</p> <p>8 学級全体で意見を出し合い、課題について話し合う。</p> <p style="text-align: center;">【クロストーク活動】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表用ボードには分かりやすく簡単な言葉で書くように指示する。</li> <li>・机間指導を行い、長い文章で書いているグループには文章の精選を助言する。</li> <li>・他グループの発表を聞き、多面的・多角的な視点から東南アジアの特色を理解させる。</li> </ul>	発表用ボード
<p>まとめ 10分</p>	<p>9 学習活動をもとに、東南アジアについて、自分の言葉でまとめる。指名された生徒は発表を行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>生徒の記述例 (B 評価の例)</p> <p>東南アジアは二期作やプランテーションをおこないつながりながら輸出用の作物を生産して発展してきました。また、工業団地を整備し、外国企業を受け入れることもしています。</p> </div> <p>10 本時の課題を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとにまとめた発表資料を基に、東南アジアの特色を考えさせる。</li> <li>・想定される生徒の学習状況</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A 「十分満足できる学習状況」 東南アジアの産業を「二期作・プランテーション」「工業団地の整備」「地域連合」の3つの視点から、その特色を考え記述している。</p> <p>B 「おおむね満足できる学習状況」 東南アジアの産業の特色を、「二期作・プランテーション」「工業団地の整備」「地域連合」の中の1～2つの視点から捉え、その特色を考え、記述している。</p> <p>C 「努力を要する学習状況」 東南アジアの産業の特色を記述できていない。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>B→Aの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1～2つの視点から記述しているが、多面的・多角的に捉えられていない生徒に対して、グループで伝え合ったことを確認させ3つの視点に着目するよう助言する</li> </ul> <p>C→Bの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東南アジアの産業の特色を記述できていない生徒に対して、ヒントカードを提示して考える視点を助言する。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を振り返り、自分の考えが変容したことに気付かせる。</li> <li>・次時の予告を聞くことで、意欲を次時につなげる。</li> </ul>	